

## 微生物学(感染分子学)

### A 欧文

#### A-a

1. Sano K, Satoh K, Atarashi R, Takashima H, Iwasaki Y, Yoshida M, Sanjo N, Murai H, Mizusawa H, Schmitz M, Zerr I, Kim YS, Nishida N: Early Detection of Abnormal Prion Protein in Genetic Human Prion Diseases Now Possible Using Real-Time QUIC Assay. *PLoS One* 8(1): e54915, 2013(IF:3.730) \*
2. Ishizaka S, Horie N, Satoh K, Fukuda Y, Nishida N, Nagata I: Intra-arterial Cell Transplantation Provides Timing-Dependent Cell Distribution and Functional Recovery After Stroke. *Stroke* 44(3): 720-726, 2013(IF:6.158) \* ○ ★
3. Higuma M, Sanjo N, Satoh K, Shiga Y, Sakai K, Nozaki I, Hamaguchi T, Nakamura Y, Kitamoto T, Shirabe S, Murayama S, Yamada M, Tateishi J, Mizusawa H. Relationships between clinicopathological features and cerebrospinal fluid biomarkers in Japanese patients with genetic prion diseases. *PLoS One* 8(3): e60003, 2013(IF:3.730) \* ○
4. Kawakatsu M, Urata Y, Imai R, Goto S, Ono Y, Nishida N, Li TS. Nicaraven attenuates radiation-induced injury in hematopoietic stem/progenitor cells in mice. *PLoS One* 8(3): e60023, 2013(IF:3.730) \*
5. Kishimoto Y, Hirono M, Atarashi R, Sakaguchi S, Yoshioka T, Katamine S, Kirino Y. Age-dependent impairment of eyeblink conditioning in prion protein-deficient mice. *PLoS One* 8(4): e60627, 2013(IF:3.730) \*
6. Nakamura T, Matsuo T, Fukuda T, Yamato S, Yamaguchi K, Kinoshita I, Matsuzaki T, Nishiura Y, Nagasato K, Narita-Masuda T, Nakamura H, Satoh K, Sasaki H, Sakai H, Kawakami A. Efficacy of prosultiamine treatment in patients with human T lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis: results from an open-label clinical trial. *BMC Medicine* 11(1): 182, 2013(IF:6.679) \*
7. Nakagaki T, Satoh K, Ishibashi D, Fuse T, Sano K, Kamatari YO, Kuwata K, Shigematsu K, Iwamaru Y, Takenouchi T, Kitani H, Nishida N, Atarashi R: FK506 reduces abnormal prion protein through the activation of autolysosomal degradation and prolongs survival in prion-infected mice. *Autophagy* 9(9): 1386-1394, 2013(IF:12.042) \* ★○

### B 邦文

#### B-b

1. 佐藤克也, 新 竜一郎, 西田教行: 髄液 14-3-3 蛋白とタウ蛋白増加の鑑別診断. *Clinical Neuroscience* 別冊 31(7): 850-851, 2013
2. 佐藤克也, 新 竜一郎, 西田教行: プリオン病の髄液診断の可能性. *最新医学* 68(9): 1950-1957, 2013
3. 佐野和憲, 西田教行: プリオン蛋白異常化とプリオン病“感染”の機序. *Clinical Neuroscience* 31(9): 1019-1021, 2013
4. 佐藤克也, 新 竜一郎, 西田教行: 髄液検査のポイントと鑑別診断. *Clinical Neuroscience* 別冊 31(9): 1080-1082, 2013
5. 新 竜一郎: QUIC 法と他の高感度異常型プリオン蛋白検出法. *Clinical Neuroscience* 別冊 31(9): 1083-1085, 2013
6. 西田教行, 佐藤克也: 急速進行性認知症の鑑別診断. *長崎市医師会報* 47(11): 17-20, 2013

#### B-c

1. 佐藤克也, 西田教行: ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病. (館田 一博, 山口 恵三(編): 感染症症候群(第2版)一症候群から感染性単一疾患までを含めて— 上, 日本臨牀社, 大阪, pp792-797 所収) 2013
2. 六倉 和生, 佐藤 克也, 西田 教行: 致死性家族性不眠症. (館田 一博, 山口 恵三(編): 感染症症候群(第2版)一症候群から感染性単一疾患までを含めて— 上, 日本臨牀社, 大阪, pp798-801 所収) 2013

#### B-d

1. 西田教行, 佐藤克也, 新 竜一郎: ヒトプリオン病の definite cases における髄液中のバイオマーカーの検討と異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (RT-QUIC 法) による解析 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.46-50, 2013
2. 西田教行: 異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (Real-time QUIC 法) とバイオマーカーを用いたヒトプリオン病の髄液診断法の確立 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.179, 2013
3. 堀内浩幸, 佐藤克也, 西田教行: CJD 経過に伴う髄液 H-FABP の変動と認知症患者の血清 H-FABP 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.39-42, 2013
4. 水澤英洋, その他多数(佐藤克也): 1999-2012 年のクロイツフェルト・ヤコブ病サーベイランスの結果 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書, pp.19-24, 2013
5. 新 竜一郎, 祖母井香織, 西田教行, 福田 茂夫: 食品および原材料に応用可能な高感度プリオン検出技術の開発と BSE の感染病態・増殖機構の解明 厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業) 食品を介する伝達性海綿状脳症のリスクと対策等に関する研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.16-19, 2013

6. 佐藤克也: プリオン病サーベイランスにおけるヒトプリオン病の患者の髄液中のバイオマーカーと異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (RT-QUIC 法) の解析 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.31-34 2013
7. 水澤英洋、その他多数 (佐藤克也) :1999-2012 年のクロイツフェルト・ヤコブ病サーベイランスの結果 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.13-22 2013
8. 原田雅史、その他多数 (佐藤克也) : 進行性認知症患者における 3 Tesla 及び薄切スライス MRI の意義に関する前向き研究 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.29-30 2013
9. 三條伸夫、その他多数 (佐藤克也) : 我が国の遺伝性 CJD(V180I)における髄液中バイオマーカー所見と発症年齢と罹病機関の関連性について 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.41-44 2013
10. 西澤正豊、その他多数 (佐藤克也) : V180I と M232R 変異を併せ持つ遺伝性 CJD の 2 症例の検討 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 24 年度総括・分担研究報告書 pp.45-48 2013
11. 佐藤克也: ヒトプリオン病の患者における髄液中のバイオマーカーと異常プリオン蛋白試験管内増幅法 (RT-QUIC 法) の解析 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成 22-24 年度総合研究報告書 pp.38-40 2013

#### B-e-1

1. 佐藤克也: 髄液によるプリオン病の診断と鑑別診断. 臨床神経 53: 1252-1254, 2013
2. 三條伸夫, 日熊麻耶, 北本哲之, 佐藤克也, 新 竜一郎, 西田教行, 山田正仁, 水澤英洋: プリオン病の最近の進歩 遺伝性プリオン病における病型と髄液所見. NEUROINFECTION 18(1): 35-40, 2013
3. 佐藤克也: プリオン病の最近の進歩 ヒトプリオン病患者における髄液中の生化学的バイオマーカーと異常プリオン蛋白の検出について. NEUROINFECTION 18(1): 41-43, 2013

#### 論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2013	7	0	0	0	0	7	7	0	6	2	11	3	22	29

#### 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計		B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会				シンポジウム	学会		
2013	3	0	10	13		0	1	11	12	25

#### 論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)		SCI 掲載論文 数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2013	0.241	1.167		1	1.167

#### Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2013	39.799	6.633	5.686